

種子をまく

鈴木昭司

光傾き

影が背伸びをはじめた

地は凍え

草は枯れる

森のいのちは

糧を求め

ねぐらに入る

用意をはじめ

おぼろな光に包まれ

樹木はただ立ちつくし

土に埋もれた種子たちは

息をひそめて時季を待つ

めぐる季節の軌道から外れ

いのちに幕を下ろすそのとき

あらたないのちを用意する

意味などあるのか

だが

私は今日

新たな種子をまく

私ではない誰かのため

生まれ来る

すべてのいのちの赤子のために

かつて私も

大地にまかれた一粒の種子であった